

FX NEWS PRESS

February 2019 No.146

2019年2月1日発行
エフエックス
ニュースプレス2月号

発行・編修
カネツFX証券
コンサルティング部
Tel : 03-6861-8181

2

●注目銘柄 p5

英ポンド円

英国のEU離脱予定日まで残り僅に迫る。
離脱に向けて進展なるか!!

●FX・CFDセミナー情報

藤田茂の為替相場を斬る

【東京】	2/7(木)13:00~	東京金融取引所プラザ
【東京】	2/12(火)13:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	2/14(木)13:00~	兵庫県私学会館
【大阪】	2/15(金)13:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	2/16(土)12:00~	カネツ商事関西支店

藤田茂の実況ライブセミナー

【神戸】	2/14(木)12:00~	兵庫県私学会館
【大阪】	2/15(金)12:00~	カネツ商事関西支店

FX・日経225投資セミナー

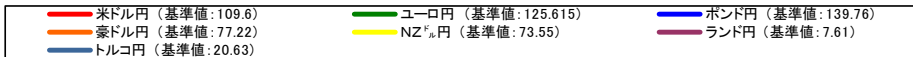
【東京】	2/4(月)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	2/7(木)11:00~	東京金融取引所プラザ
【北九州】	2/8(金)13:30~	北九州市立商工貿易会館
【北九州】	2/8(金)17:00~	北九州市立商工貿易会館
【久留米】	2/9(土)10:00~	久留米シティプラザ
【久留米】	2/9(土)13:00~	久留米シティプラザ
【東京】	2/12(火)11:00~	東京金融取引所プラザ
【神戸】	2/14(木)10:00~	兵庫県私学会館
【大阪】	2/15(金)10:00~	カネツ商事関西支店
【大阪】	2/16(土)10:00~	カネツ商事関西支店
【東京】	2/21(木)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	2/22(金)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	2/26(火)17:30~	東京金融取引所プラザ
【東京】	2/28(木)13:00~	東京金融取引所プラザ

➤ 詳しくはホームページをご覧ください ◀

 カネツFX証券

www.kanetsufx.co.jp

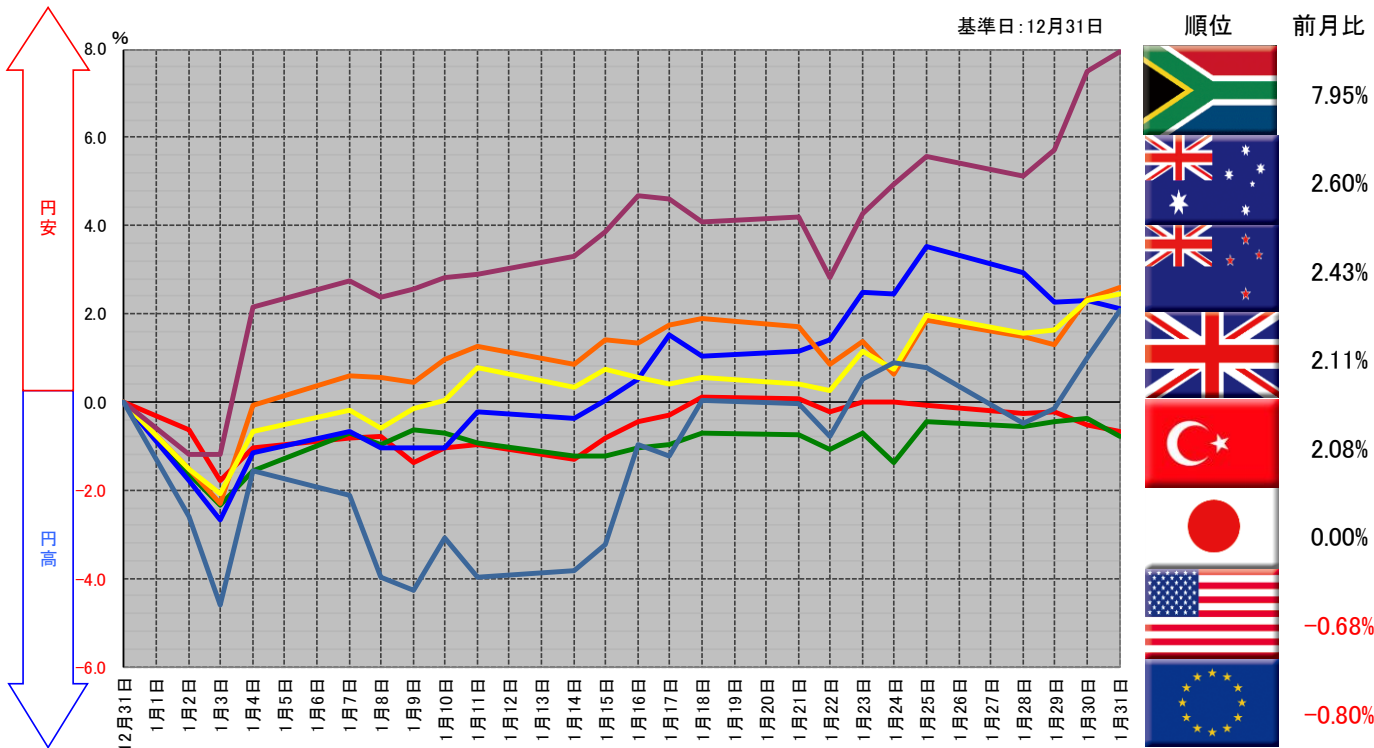
カネツFX証券株式会社 東京都中央区日本橋久松町12-8 03-6861-8181 金融商品取引業者 [関東財務局長(金商)第282号]
一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員 日本商品先物取引協会会員



1月31日時点評価

基準日: 12月31日

順位 前月比



1月3日 アップル・ショック 円高急進。

3日、アジア時間早朝に米アップルが中国国内での需要低迷などを理由に、業績予想を大幅に下方修正した。同社の業績下方修正は2007年のiPhone発売以来初めてで、約12年ぶりとなる。これらを受け、リスク回避の動きなどから円買いとなり、インターバンク・レートでは米ドル円が104円台まで急落した。

1月4日 米雇用統計

12月の米雇用統計では、非農業部門での雇用者数の伸びが前月比31万2000人増となり、事前の予想値17.7万人増を大きく上回った。また、平均時給は前年比で3.2%増となり、こちらも事前の予想値3.1%を上回る結果となった。良好な米雇用統計の結果を受け、米ドル円は108円台後半付近まで強含んだ。

1月9日 米FOMC議事要旨

米連邦公開市場委員会(FOMC)会合(12月18-19日開催)の内容が公開された。議事要旨によると、「多くの参加者は、特にインフレ圧力が落ち着いた環境においては、FOMCはさらなる政策引き締めに関して辛抱強くなれる余地がある」との見解を示した。また、「金融市場のボラティリティや世界の成長を巡る懸念増大といった最近の動向により、今後の政策引き締めに関して、適切な程度と時期は以前より明確ではなくなった」との見解を示しており、多くのメンバーが追加利上げを急ぐ必要がないと考えていることや、米利上げ見通しが従来よりも不透明となったことが推測できる。米利上げ姿勢が緩和的との印象から米ドル売りの反応となった。

1月15日 Brexit. 英下院で離脱協定合意を否決

15日に英下院でEU離脱協定合意の承認決議が行われた。結果は賛成202票、反対432票、棄権1票で大差の否決となった。与党・保守党からは118名の造反議員が出ている。

また、これまで保守党の過半議席維持に閣外協力をしてきた北アイルランドの地域政党である民主統一党(DUP)も下院議員10名全員が反対票に投じ、大差での否決となった。そして為替市場の反応は、事前の予想で否決される可能性が高いとの見方が多かったため、英ポンド売りが先行していたが、否決されたとの内容が報道されると、英ポンドは買い戻される展開となった。噂で売って事実で買う格好となったようだ。

1月16日 メイ英首相の不信任案投票

15日に行われた英下院でのEU離脱協定の合意決議が大差で否決されたことを受け、同日に野党・労働党のジェレミー・コービン党首は、内閣不信任動議の提出を表明。翌日の16日に英下院でメイ英首相の不信任案の投票が行われた。結果は賛成306票、反対325票となり、メイ英首相の支持が上回った。メイ英首相は不信任を免れることとなり、英ポンドは買われた。

1月21日 IMF世界経済見通し

21日、IMF国際通貨基金(IMF)は世界経済見通しを発表した。2019年の世界の成長率見通しを前回2018年10月時点から0.2ポイント下方修正し、3.5%と予想した。先進国の成長率見通しは2.0%、新興国では4.5%と予想しており、2018年10月時点から、それぞれ先進国では0.1ポイント、新興国では0.2ポイント下方修正している。特に先進国のなかではユーロ圏の経済成長率の悪化が予想されている。ドイツでは0.6ポイント、続いてイタリアが0.4ポイントと大幅な下方修正となった。ドイツでは自動車など、製造業を中心とした売り上げの低迷や貿易量の低下、イタリアでは債務問題など、それぞれが背景となっているようだ。ユーロ圏全体では0.3ポイント下方修正となる。加えてIMFは世界経済のさらなる下振れリスクとして、米中貿易摩擦の拡大や中国経済の想定以上の減速、英国が合意なくEU離脱の可能性

など、ネガティブな材料も挙げられたが、為替市場の反応は主要な各通貨では至って限定的であった。

1月29日 英議会議、EU離脱代替案の採決

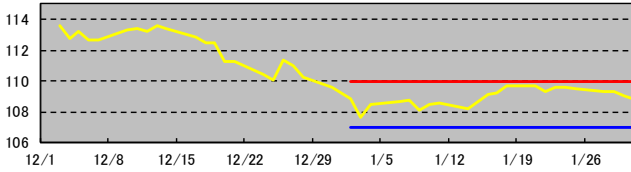
29日、英議会議はEU離脱を巡り、メイ首相の代替案と別の議員による複数の修正案の採決がおこなわれた。なかでも、英領北アイルランドとアイルランドとの間で厳格な国境管理をさせないためのバックストップを「代替的取り決め」に置き換えるという内容で与党保守党の有力議員であるグラハム・ブレイディ氏が提案した。結果は賛成317票、反対301票で賛成多数で可決。同案が可決されたことに対し、トウスクEU大統領は報道官を通してバックストップは離脱協定案の一部で再交渉の余地はないと考えを述べたうえで、「離脱協定案の再交渉は議題となっていない」と声明を公表した。声明には英国を除くEU27加盟国の同意を得た内容だとしている。為替市場では英国とEU側での相違から離脱問題は引き続き難航する見通しとなり英ポンド売りが優勢となった。

1月30日 米FOMC

30日に米連邦公開市場委員会(FOMC)でフェデラルファンド(FF)金利の誘導目標を2.25%-2.50%に据え置くことを投票メンバー10人全員一致で決定した。声明文では「FOMCでは先行きの政策金利の調整の様子を見ず(behind the scenes)と明記されており、これまで盛り込まれていた「若干の段階的な追加利上げが正当化される」との文言が削除されていた。バランスシートの正常化については、「バランスシートの規模や構成内容の変更を含めて、すべての緩和手段を講じる用意がある」と表明。パウエルFRB議長は「海外景気や金融市場には相反する動きがある」と指摘しており、世界経済の見通しに陰りがあることなどが米利上げの棚上げやバランスシート再拡大を示唆した理由のようだ。為替市場では、これらのハト派的な声明を受け米ドル売りとなった。

ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
107.00	110.00



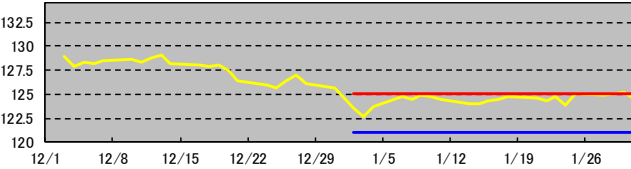
押し目買い方針 評価【○】

コメント

予想レンジの中で往来する格好となった

ユーロ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
121.00	125.00



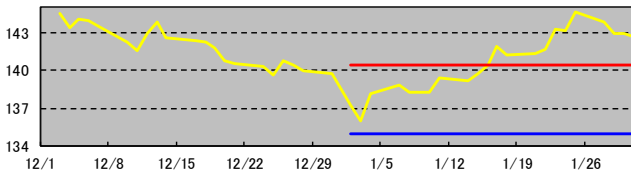
逆張り方針 評価【○】

コメント

予想レンジ上限付近で底堅く推移した

ポンド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
135.00	140.50



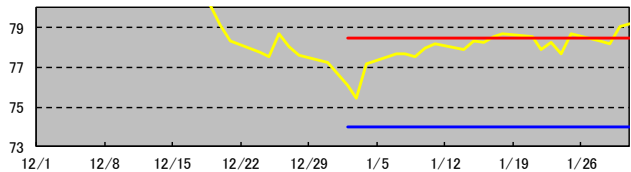
押し目買い方針 評価【×】

コメント

予想レンジ上限を上抜ける強い動きとなった

豪ドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
74.00	78.50



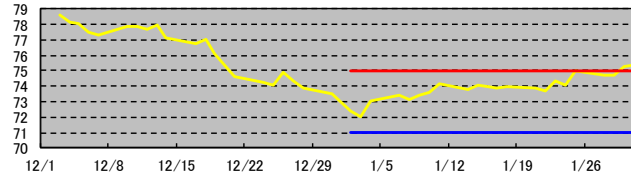
押し目買い方針 評価【△】

コメント

予想レンジ上限付近で底堅く推移した

NZドル円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
71.00	75.00



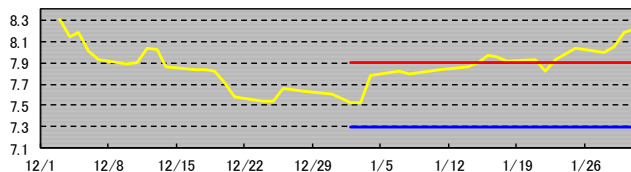
押し目買い方針 評価【○】

コメント

予想レンジ下限付近より上限水準へ、上伸した

ランド円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
7.30	7.90



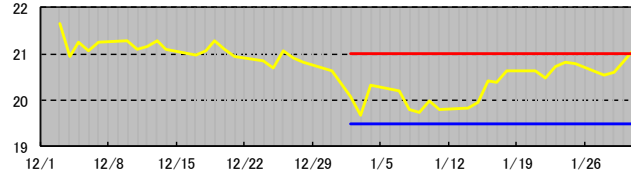
逆張り方針 評価【×】

コメント

予想レンジ上限を上抜ける強い動きとなった

トルコ円

予想レンジ下限	予想レンジ上限
19.50	21.00



押し目買い方針 評価【○】

コメント

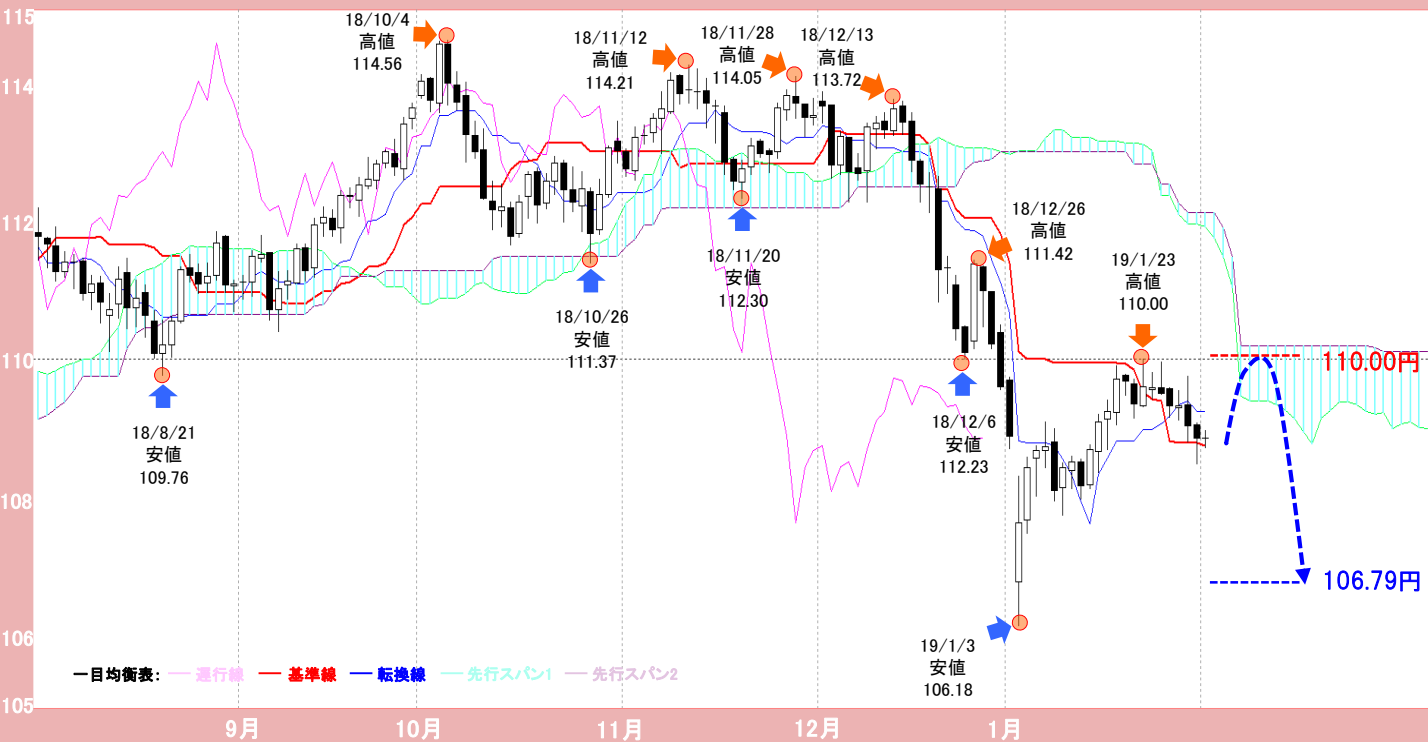
予想レンジの上下で往来する格好となった

米ドル/円 【戻り売り方針】

予想レンジ
 ↑ 110.00円
 ↓ 106.00円



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/23高値110.00を示現し、その後は軟調となっています。大台110.00は12/13高値から1/3安値までの下落分に対する50%戻し(109.95)付近にも相当しており、引き続きレジスタンスとして意識されそうです。テクニカル的な節目の水準で上値を抑えられたことで、目先は戻り売り圧力が強まることが予想され、下値の目途は1/3寄り価格106.79付近と考えます。

リスクシナリオ 30%

レジスタンスとして予想した大台110.00を上抜けた場合で、その際は12/26高値111.42付近が視野に入りそうです。

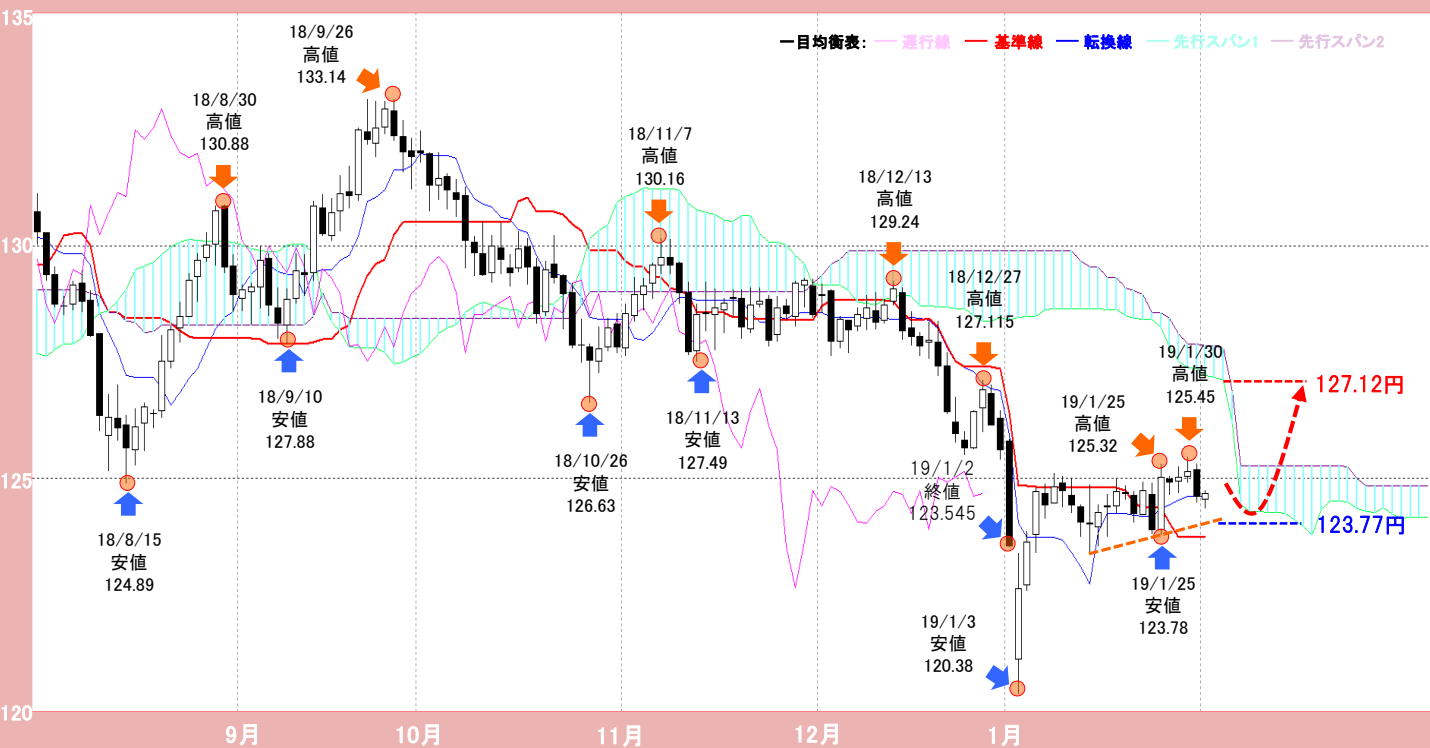
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/1 22:30	1月非農業部門雇用者数変化		31.2万人	★★★
2/2 0:00	1月ISM製造業景況指数	▲	54.1	★★
2/5 22:30	12月貿易収支		-555億USD	★★
2/6 0:00	1月ISM非製造業指数	▲	57.6	★★
2/13 22:30	1月消費者物価指数(前年比)		1.90%	★★★
2/14 22:30	1月生産者物価指数(前年比)		2.50%	★★
2/15 22:30	2月ニューヨーク連銀製造業景気指数	▲	3.9	★★
2/15 22:30	1月小売売上高(前月比)【速報】			★★
2/21 4:00	FOMC議事録			★★★
2/28 22:30	第4四半期 GDP(年率/前期比)【改定】			★★★

〈相場の格言〉大きな儲けの約束は果たさない(儲け話が大きくなるほど実現は遠くものである。)



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/30高値125.45を示現し、抵抗となっていた125.00付近を何度か上抜ける場面が確認されました。一方で、下値も1/25安値を起点に切り上げる格好となっていることから、レンジ上放れとなりそうです。1/25安値123.775をサポートに、12/27高値127.115付近を目指す展開を予想します。

リスクシナリオ 30%

下値サポートとして予想した1/25安値123.775を下抜けた場合で、その際は1/3安値120.38付近まで視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/1 18:00	1月製造業PMI【確報】	50.5	50.5	★★
2/1 19:00	1月消費者物価指数(前年比)【速報】		1.60%	★★★
2/4 19:00	12月生産者物価指数(前年比)		4.0%	★★★
2/5 19:00	12月小売売上高(前年比)		1.1%	★★★
2/13 19:00	12月鉱工業生産(前年比)		-3.30%	★★★
2/14 16:00	第4四半期独GDP(季調前/前年比)【速報】			★★★★
2/14 19:00	第4四半期GDP(季調済/前年比)【改定】		1.20%	★★★★
2/15 19:00	12月貿易収支(季調前)		190億EUR	★★★
2/21 18:00	2月製造業PMI【速報】		50.5	★★★
2/22 19:00	1月消費者物価指数(前年比)			★★★★

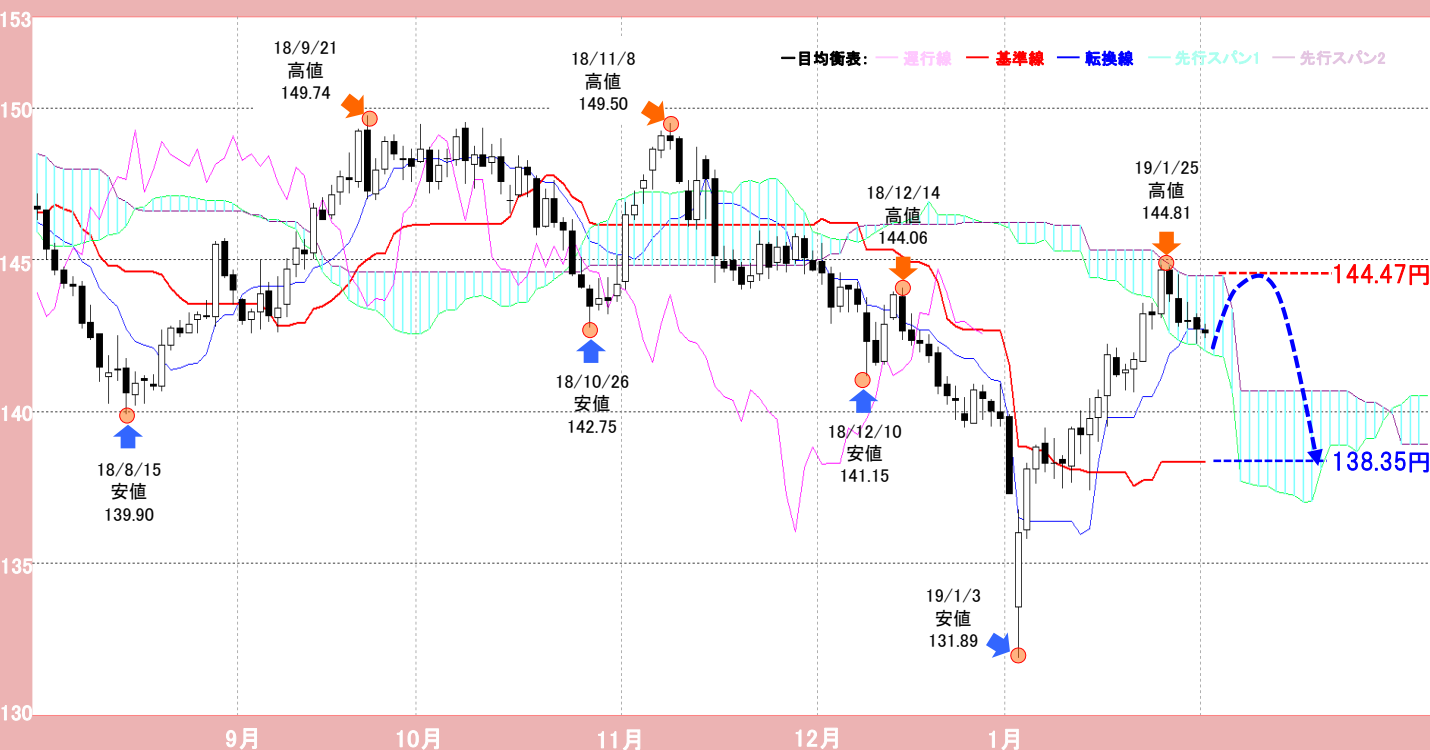
<相場の格言>人生は運・鈍・根(根は根気。鈍は鈍重、才走って賢い人は言われるほど成功しない。)

ポンド/円 【戻り売り方針】

予想レンジ
 ↑ 145.00円
 ↓ 138.00円



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/25高値144.81示現後、軟調な動きとなっています。一目均衡表では雲上限(2/1現在144.47)付近で上値が抑えられており、引き続きレジスタンスとして機能しそうです。その雲は2/6あたりを境に下降傾向となっていることから、目先は売り圧力が強まることが予想されます。その際、下値の目標値は1/3安値から1/25高値までの上昇分に対する50%押しに相当する138.35付近を予想します。

リスクシナリオ 30%

レジスタンスとして予想した一目均衡表の雲上限(2/1現在144.47)を上抜けた場合で、その際は11/8高値149.50付近まで視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/1 18:30	1月製造業PMI(季調済)	52.8	54.2	★★
2/11 18:30	第4四半期GDP(前年比)【改定】		1.4%	★★★★
2/12 18:30	12月商品貿易収支		-120.2億GBP	★★
2/11 18:30	12月鉱工業生産(前年比)		-1.5%	★★
2/11 18:30	12月製造業生産(前年比)		-1.1%	★★
2/13 18:30	1月消費者物価指数(前年比)		2.1%	★★★★
2/13 18:30	1月小売物価指数(前年比)		2.7%	★★
2/13 18:30	1月生産者物価指数(前年比)		2.5%	★★
2/19 18:30	1月失業率(ILO基準)		4.0%	★★
2/28 9:01	2月GfK消費者信頼感		-14	★★

<相場の格言>群盲、象を評す(相場でも全体が見えないと部分だけで判断してしまいがちである。)



[日足] 2018年8月1日～2019年1月31日



メインシナリオ 70%

実線は、1/31高値79.41を示現し、じり高な展開となっています。20日移動平均線(2/1現在78.27)付近で何度か下げ止まる動きが確認されていることから、同線付近では押し目買いの反応が期待できます。その場合、20日移動平均線をサポートに上値を探る展開となりそうで、上値付近に控える200日移動平均線(2/1現在81.17)が短期的な目標値となりそうです。

リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した20日移動平均線(2/1現在78.27)を下抜けた場合で、その際は年初に空けた窓の上限付近(76.055)が目標値となりそうです。

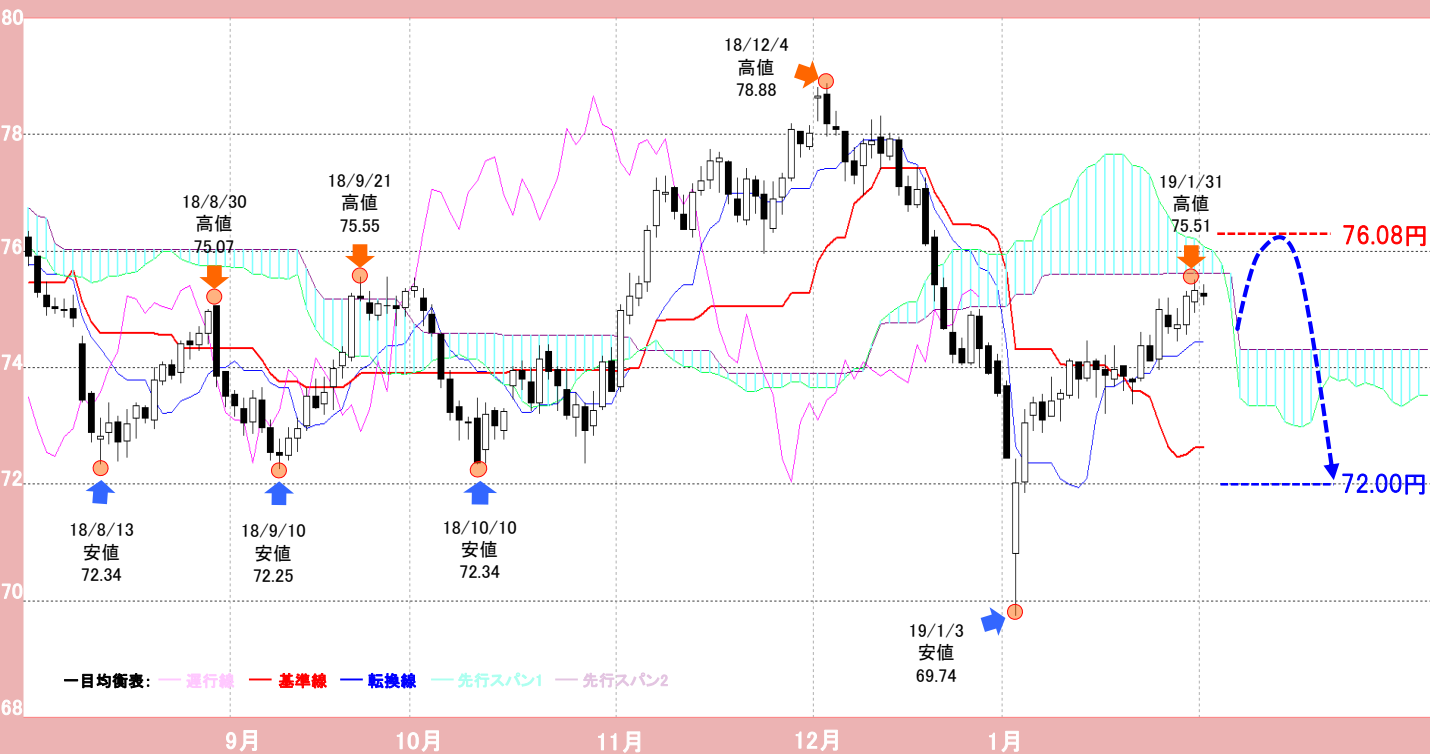
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/1 9:30	第4四半期生産者物価指数(前年比)	2.1%	2.00%	★★
2/4 9:30	12月住宅建設許可件数(前年比)		-9.10%	★
2/5 9:30	12月貿易収支		19.25億AUD	★★
2/5 9:30	12月小売売上高(前月比)		0.20%	★★
2/5 12:30	豪州中銀政策金利		1.50%	★★★
2/21 9:30	1月雇用者数変化		2.16万人	★★★★
2/21 9:30	1月失業率		5.0%	★★★★

<相場の格言>後悔に二つあり(利食いが早すぎた後悔は笑って済ませよ。利がはげてしまった後悔はやるせない。)



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/31高値75.51を示現し、堅調な動きとなっています。ただし、過去の値動きの傾向で、昨年10月以降は一カ月程のスパンでトレンドが転換しており、1月2日以降の上昇トレンドも、そろそろ転機を迎えそうです。加えて、上値付近には一目均衡表の雲が控えているため、上値が抑えられる可能性も考えられます。下落トレンドに転換した際の下値目途は8月・9月・10月の安値水準である72.00付近となりそうです。

リスクシナリオ 30%

レジスタンスとして予想した一目均衡表の雲上限(2/1現在76.08)を上抜けた場合で、その際は12/4高値78.88付近まで視野に入りそうです。

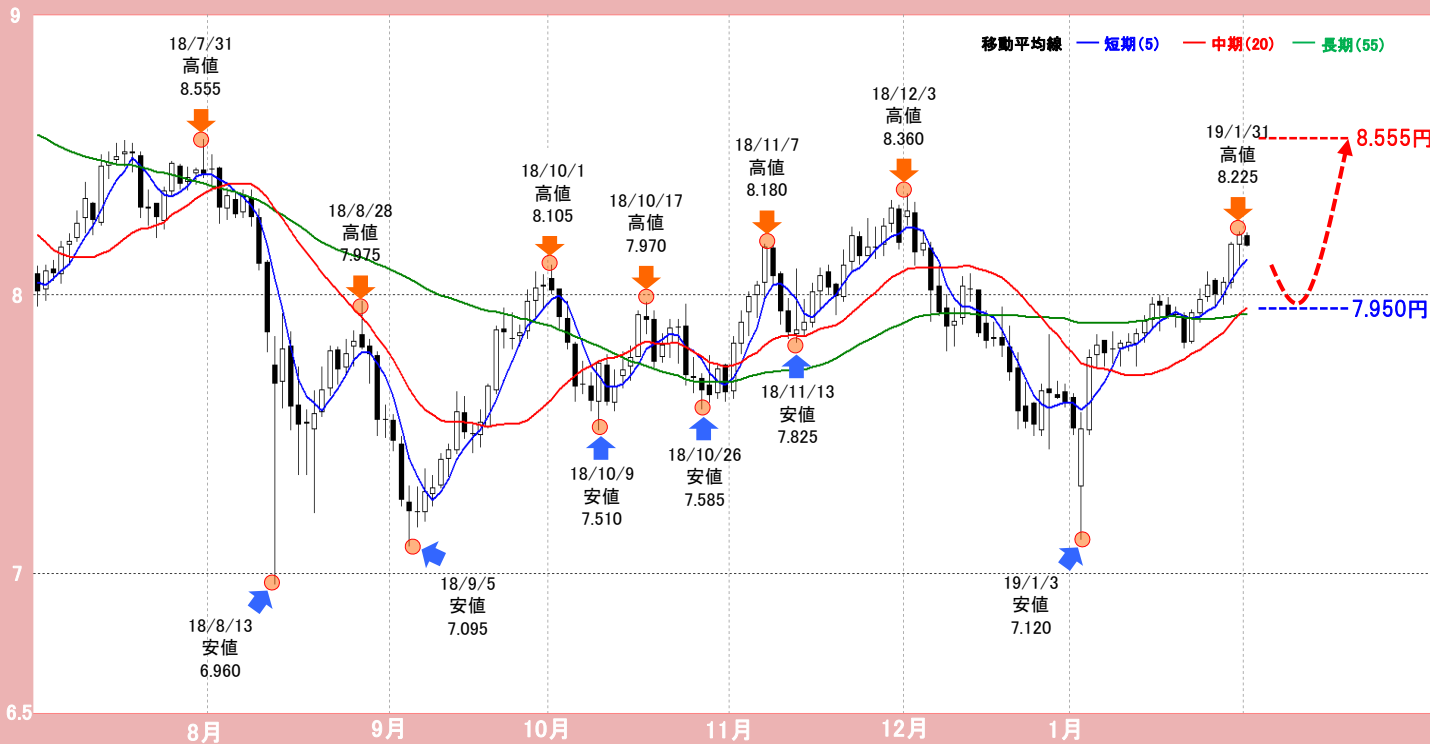
◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/4 6:45	12月住宅建設許可(前月比)			★
2/25 6:45	第4四半期小売売上高(前期比)		0.0%	★★★★
2/27 6:45	1月貿易収支			★★★★
				—
				—
				—
				—
				—
				—

<相場の格言> 遇と不遇は時なり(相場で儲かっているのも損しているのも単なる時の違いにすぎない。)



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/31高値8.225を示現し、堅調な動きとなっています。足元では20日移動平均線が55日移動平均線を上抜け、ゴールデンクロスを形成しており地合いの強さが伺えます。まずは12/3高値8.360を試す動きとなりそうですが、同水準を上抜けた際は7/31高値8.555付近まで視野に入りそうです。一方で、サポートは20日移動平均線(2/1現在7.950)付近を予想します。

リスクシナリオ 30%

サポートとして予想した20日移動平均線(2/1現在7.950)を下抜けた場合で、その際は1/3安値7.120を再び目指す可能性も考えられそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	国	イベント	結果	前回	注目度
2/1 8:30	日本	12月失業率			★★
2/8 4:00	メキシコ	メキシコ中銀政策金利			★★★
2/8 15:45	スイス	1月失業率			★★
2/14 8:50	日本	第4四半期GDP(年率/季調済/前期比)【速報】		-2.5%	★★★
2/28 15:45	スイス	第4四半期GDP(前年比)		2.4%	★★★

<相場の格言>騰げは別々、下げは一緒(相場上昇時は業種等によって別々に上昇するが、下落時は同時に下げる。)



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/31高値21.08を示現し、じり高な展開となっています。また、1/20付近で5日移動平均線が20日移動平均線を上抜け、ゴールデンクロスを形成していることから地合いの強さが伺えます。10月から12月までの上昇過程において、サポート実績のある20日移動平均線(2/1現在20.41)付近を下値目途に12/3高値22.08付近を試す展開を予想します。

リスクシナリオ 30%

下値サポートとして予想した19.44を下抜けた場合で、その際は1/3安値18.02付近が視野に入りそうです。

◎ 今月の経済指標発表スケジュール

発表時刻	イベント	結果	前回	注目度
2/1 16:00	1月製造業 PMI		44.2	★★
2/4 16:00	1月消費者物価指数		20.30%	★★
2/4 16:00	1月生産者物価指数		33.64%	★★
2/15 16:00	失業率 (3ヵ月間)		11.6%	★★
2/28 16:00	貿易収支		-26.7億USD	★★

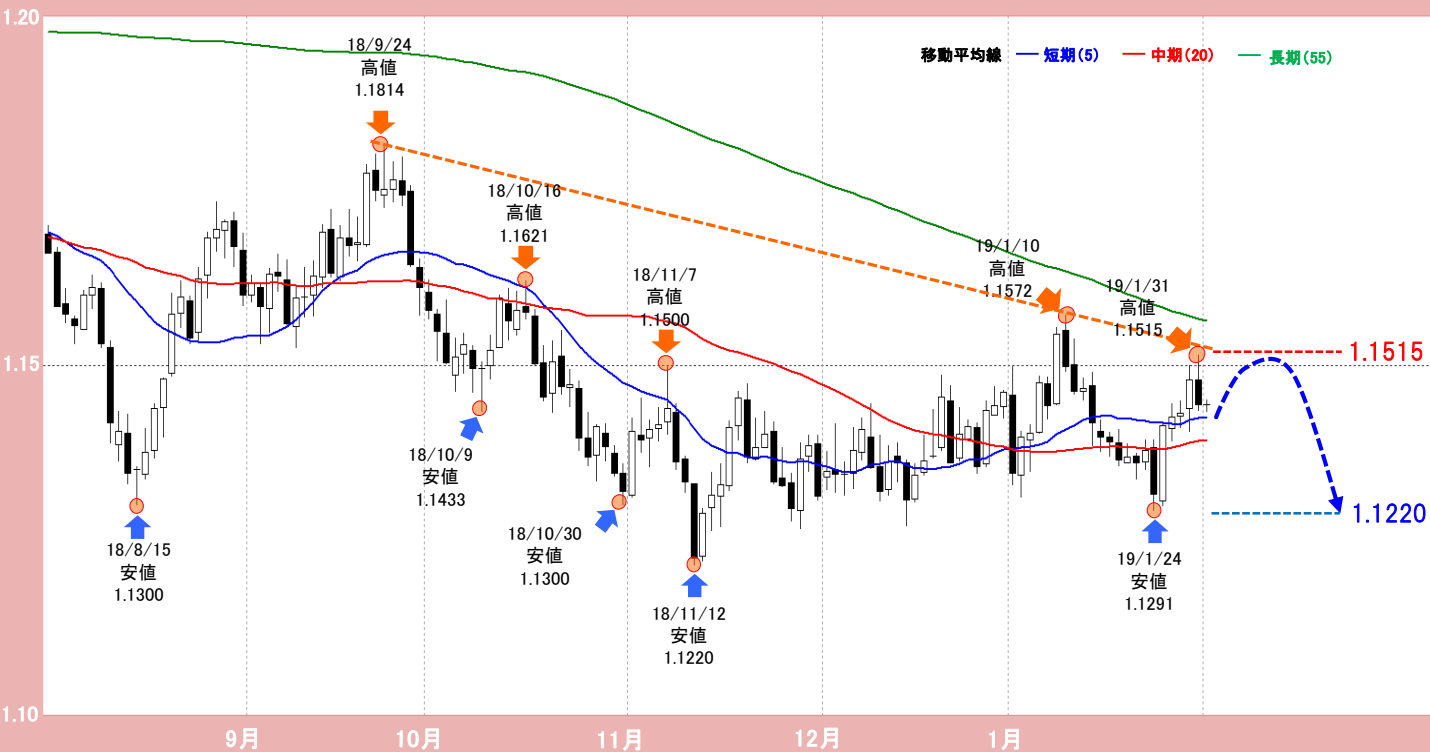
<相場の格言>逆ザヤに売りなく、逆日歩に売りなし(順ザヤのサヤすべりの反対現象であるから売りは不利と考える。)

ユーロ/米ドル 【戻り売り方針】

予想レンジ
 ↑ 1.1550
 ↓ 1.1200



[日足] 2018年8月1日～2019年2月1日



メインシナリオ 70%

実線は、1/10高値1.1572を示現後、上値が重い動きとなっています。9/24高値から1/10高値を結んだトレンドラインで上値が抑えられており、レジスタンスとして意識されそうです。1/31高値1.1515を上値目途に、下値は12月以降続いたレンジの下限付近にあたる1/24安値1.1291を目途に戻り売り相場を予想します。

リスクシナリオ 30%

レジスタンスとして予想した1/31高値1.1515を上抜けた場合で、その際は9/24高値1.1814付近を目指す可能性も考えられそうです。

② スワップポイント実績表 (月別合計/1枚あたり)

	ドル/円	ユーロ/円	ポンド/円	豪ドル/円	NZ/円	ランド/円	トルコ/円	ユーロ/ドル
2月	1,502円	-239円	705円	1,212円	1,274円	4,908円	2,656円	-24.00ドル
3月	1,516円	-238円	590円	1,137円	1,237円	5,221円	2,680円	-26.00ドル
4月	2,049円	-200円	857円	1,542円	1,441円	5,631円	2,975円	-26.00ドル
5月	1,923円	-105円	701円	1,272円	1,306円	4,662円	2,604円	-28.00ドル
6月	2,177円	-58円	785円	1,460円	1,255円	4,422円	3,160円	-23.00ドル
7月	2,083円	-169円	657円	1,334円	1,287円	4,375円	3,064円	-23.09ドル
8月	2,336円	-208円	1,080円	1,421円	1,420円	4,761円	3,714円	-26.30ドル
9月	2,248円	-5円	1,179円	1,421円	1,430円	4,190円	2,734円	-23.61ドル
10月	2,674円	-179円	1,233円	1,492円	1,182円	4,761円	3,666円	-29.39ドル
11月	2,391円	-157円	1,082円	1,221円	1,145円	3,904円	3,722円	-25.51ドル
12月	3,386円	275円	1,254円	1,615円	1,467円	4,521円	4,158円	-28.41ドル
1月	2,508円	-139円	1,018円	1,315円	1,061円	4,092円	3,483円	-30.36ドル
計	26,793円	-1,422円	11,141円	16,442円	15,505円	55,448円	38,616円	-313.67ドル

<相場の格言>総強気は売れ、総弱気は買い(つきつめていけば、相場とはそういうものである。)

【各国基礎データ】

		日本	米国	ユーロ	英国	豪州	NZ	スイス	カナダ	南ア	トルコ
政策金利	2018年8月	-0.10	2.00	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	17.75
	2018年9月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.50	6.50	24.00
	2018年10月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.50	24.00
	2018年11月	-0.10	2.25	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2018年12月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
	2019年1月	-0.10	2.50	0.00	0.75	1.50	1.75	-0.75	1.75	6.75	24.00
失業率	2018年7月	2.5	3.9	8.2	2.5	5.3	3.9	2.6	5.8	27.5	10.8
	2018年8月	2.4	3.9	8.1	2.6	5.3	3.9	2.6	6.0	27.5	11.1
	2018年9月	2.3	3.7	8.1	2.6	5.0	3.9	2.4	5.9	27.5	11.4
	2018年10月	2.4	3.7	8.1	2.7	5.0	-	2.4	5.8	-	-
	2018年11月	2.5	3.7	7.9	2.8	5.1	-	2.5	5.6	-	-
	2018年12月	2.4	3.9	7.9		5.0	-	2.7	5.6	-	-
GDP	2017年 1Q	1.0	1.2	2.1	2.1	1.7	2.5	3.7	0.4	1.0	5.0
	2017年 2Q	2.5	3.1	2.4	1.9	1.8	2.5	4.5	0.3	1.3	5.1
	2017年 3Q	2.5	3.2	2.6	1.7	2.8	2.7	1.7	0.2	0.8	11.1
	2018年 1Q	-0.6	2.2	2.5	1.2	3.1	2.7	1.3	0.3	0.8	7.4
	2018年 2Q	3.0	4.2	2.2	1.3	3.4	2.8	2.9	0.0	0.4	5.2
	2018年 3Q	-1.2	3.5	1.7	1.5	2.8	3.0	2.0	-	1.1	1.6
10年国債	2018年8月	0.107	2.860	0.326	1.427	2.519	2.535	-0.095	2.228	8.980	20.660
	2018年9月	0.130	3.061	0.470	1.573	2.668	2.613	0.039	2.427	9.000	20.030
	2018年10月	0.136	3.144	0.413	1.464	2.646	2.595	0.005	2.507	9.375	18.000
	2018年11月	0.092	2.987	0.300	1.437	2.646	2.592	-0.105	2.236	8.940	16.080
	2018年12月	0.026	2.691	0.246	1.269	2.322	2.393	-0.168	1.965	8.885	15.830
	2019年1月	0.000	2.635	0.156	1.220	2.238	2.278	-0.265	1.879	8.590	13.840

【免責事項】

- カネツFX証券(株)は、本情報に記載の情報いづれについても、その信頼性、正確性または完全性について保証するものではありません。このような情報にはカネツFX証券(株)により確認されていない情報が含まれていることもありますので、全てご自身のリスクでこれらをご利用下さい。本情報の中で述べられている意見は、表示の日付のカネツFX証券(株)の判断であり、予告無しに変更されることがあります。記載内容は同意を得た場合を除き、他社に開示することはできません。
- くりっく365は為替レートやスワップポイント(金利差調整分)の変動に伴い損益の発生する商品であり、元本や収益が保証されるものではありません。
- くりっく365は取引の額が預託された証拠金に比して大きくなる(レバレッジ最大25倍まで)ため、差入証拠金以上の損失が生じる場合があります。また、建玉を維持するために追加で証拠金を差し入れる必要が生じる場合があります。
- くりっく365で提示する為替レートには価格差(スプレッド)があります。
- 手数料はお客様の選択された取引コースにより異なります。
【総合コース:1枚あたり片道1,080円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は1,080円のうち756円が媒介手数料となります】
【インターネットコース:1枚あたり片道216円(税込)。ただし、媒介口座をご利用の場合は216円のうち108円が媒介手数料となります】
- 注文の発注、およびポジションを維持するために必要な証拠金額は通貨ペアによって異なり、1枚あたり30,000円～60,000円(2018年11月1日現在)です。なお、必要証拠金額は所定の計算式により毎週見直されるため、変更される場合があります。
- お取引に際して、必ず契約締結前交付書面(取引所為替証拠金取引説明書)、為替証拠金取引口座設定約諾書、約款ならびにお客様向け資料の内容をよく読み、ご理解のうえお客様ご自身の判断でお取引ください。
- 「取引所FX くりっく365」は株式会社東京金融取引所の登録商標です。

【編集・発行】

カネツFX証券株式会社 コンサルティング部

住所：東京都中央区日本橋久松町12-8 TEL：03-6861-8181(直通) E-mail：kawase@kanetsufx.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第282号 一般社団法人金融先物取引業協会会員 日本証券業協会会員

日本商品先物取引協会会員